



## 比曽の三匹獅子、舞う

### 9/19 絆つながる「までいな一日。」

松川工業団地内第1仮設住宅駐車場を会場に絆つながる「までいな一日。」が開催されました。

全村避難により、生活拠点がばらばらになった比曽芸能保存会が久しぶりに再会し、三匹獅子舞を披露しました。

勇壮な踊りと笛・太鼓・さらは、飯館村の参加者だけでなく、会場にいたたくさんの来場者を魅了しました（関連記事2～4ページ）



比曽行政区役員主催による瀬戸内寂聴さんの講話が飯野出張所2階会議室で開かれました。

当日は、平日の日中にもかかわらず、村民ら約120人が参加しました。

寂聴さんは、「どん底の状態がいつまでも続くことはない」と全村避難



▲村民に語りかけるように話す寂聴さん

比曽行政区を代表して菅野区長から、「参加した皆さんにひとときの安らぎの時間を提供できたことはとてもうれしい。避難先で今後も多くの方が心の絆でつながることができれば」と講話を主催した感想を話していました。

を余儀なくされた村民の気持ちを汲むように講話していました。

また、寂聴さんが村民の肩をもみながら話す場面もあり、参加者の心までほぐすように話を進めていました。

参加者は、「話を聞きに来て本当によかった」と感想を話していました。

### 9/7 鹿野農林水産大臣が村内の放射性物質除去実験を視察

鹿野道彦農林水産大臣が村を訪れ、村内で行われている放射性物質除去実験を視察しました。

鹿野農林水産大臣が視察したのは、前田・八和木地区の表土除去を行い作付けした水田と、クリアセンター内に試験用に設置された燃焼施設で行われたひまわりの燃焼実験です。

燃焼実験に使用されたひまわりは、今年5月、「ふるさとへの帰還に向けた取り組み」の一環として鹿野農林水産大臣や村長らが二枚橋地区に植えたひまわりです。

また、試験で削り取りをした放射性物質の発生土を保管するコンクリート貯蔵容器についても、材質やどれくらいの放射線量を遮断できるのかなど、担当者に熱心に質問をしていました。

これらの実験結果は9月14日に同省から発表され、その結果、表土の剥ぎ取りには効果があるものの、ひまわりが吸収する放射性物質の量は少ないとの報告がありました。

視察終了後行われた意見交換会では、議長、副村長ら村関係者、川俣町長と今後の除染対策などについて意見を交わしていました。



▲クリアセンター内の焼却施設でひまわりの燃焼実験を視察する鹿野道彦農林水産大臣（左から2人目）

今月は、敬老会、絆つながる「までいな一日」、瀬戸内寂聴さんの講話、飯館絆松川がんばっぺ!!第14回夕暮れコンサートなど村の皆さんが顔を合わせる機会がたくさんありました。

「あら久しぶり」「元気だった?」と声を掛け合う皆さんの姿を見ているとこちらまで嬉しくなってしまう。



▲進行は村までい大使でラジオ福島アナウンサーの菅原美智子さん



▲オレンジクロバーの沖縄音楽の演奏には会場から自然と手拍子がおきました



▶ヘアカットブースでは東京からボランティアで参加した美容師の皆さんが無料で散髪を行いました



◀会場には福島大学のブースもあり、福島大学の学生と京都から参加したボランティアの大学生が子どもたちと交流を深めました



▲ハワイアンバンドKaneohe Gooooood Guysによる演奏  
スタルイル・オブ・フラクイチーム舞姫と競演し、フラダンスを来場者と踊るなどゆったりとした時間をつくりました



◀角ちゃんはマジックを披露



◀ハッピーバルーンぶんちゃんはその場でバルーンアートをプレゼント

## 9/19 絆つながる「までいな一日。」開催



9月19日、松川第1仮設住宅駐車場を会場に絆つながる「までいな一日。」が開催されました。

この「までいな一日。」は、飯舘村民が集える場所、そして飯舘村を愛する人々が集える時間を作ろうと、松川第1・第2仮設住宅の自治会役員や商工会青年部などから構成される絆つながる「までいな一日。」実行委員会が主催しました。

当日は、1,500人もの方が来場し、時に笑い、時に涙しながら人と人との絆を確かめ合っていました。



◀郡山市出身の書家YOCOさんによる書のパフォーマンス。  
絆つながる「までいな一日。」の題字はステージを彩りました



◀福島市松川町の愛宕陣太鼓連響組



▲力強い太鼓の音色に来場者も聞き入りました

9/12

# 福島市飯坂町に「いやしの宿いいたて」が開所

(旧溪泉荘)



▲開所式の様子

開所式では、村長が「この施設の開所を心からうれしく思います。避難生活の疲れをいやしながら、再会の日を待つのも良いのではないでしょう。村に戻るための前向きな考え方をこの施設から発信したい」と思い

ます」とあいさつしました。建物は、地上地下3階建てで、宿泊室15部屋に食堂や宴会場を完備し、源泉掛流しの温泉が魅力です。施設は、日帰り休憩と入浴の利用は無料ですが、宿泊する場合はシーツ代500円が必要です。また、食事、洗面用具、タオル、浴衣等についても各自で準備していただく必要がありま

## いやしの宿いいたて案内図



福島市飯坂町に「いやしの宿いいたて」が開所し、この日、開所式が行われました。施設は、これまでの名称「溪泉荘」を改め、「いやしの宿いいたて」として、村民のみなさんの憩いの場、交流の場に活用できるよう受け入れ体勢を整えました。



▲「いやしの宿いいたて」の全景

「いやしの宿いいたて」の利用についての詳細は(☎0241-543106)までお問い合わせください。



▲木下尊淳ユニット「しあわせの架け橋」による南米音楽の演奏  
独特のリズムが聴衆を引きつけました



▲表紙にも登場した比曾行政区の三匹獅子舞



▲あづま脳神経外科医師集団によるメンタルヘルス相談

◀会場内の村民の様子



▲スペシャルゲストは加藤登紀子さん  
来場者と直接ふれあいました



▶透き通った歌声を披露した村までい大使のYaeさん

▶絆つながら「までいな一日」の締めくくりに出演者、来場者が一緒に「ふるさと」を歌いました。中には目頭を押さえる来場者も



9月11日と17日の両日、  
いたて子育てプリペイドカード交付式が村飯野出張所2階会議室で行われ子どもたちとその保護者らが出席しました。

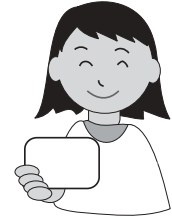


▲村長からプリペイドカードを受け取る高橋さん親子

9/11 9/17  
いたて子育てプリペイドカード交付式

年3月11日に村に住所があり、現在中学生以下の子どもたちを持つ保護者と、今年3月11日から4月1日までに生まれた子どもを持つ

今回の、この事業は、家庭の子育てにかかる経費を軽減し、子どもたちの健全育成を図ることを目的にしています。



▲交付式には多くの保護者らが出席しました

保護者、815人にカードと図書券が交付されました。

9月11日の交付式では、高橋悦美さん・瑠菜さん親子（大久保・外内）が村長からクオカードと図書券を受け取りました。

参加者からは、「こういった制度はありがたい」「子どもに本を買ってあげたい」といった感想が聞かれました。

## 9/3 仮設住宅居住者の健康維持が目的 伊達東仮設住宅で健康プログラムがスタート

村や伊達市、筑波大学などからなる健康づくり支援プロジェクトチーム主催の健康プログラムが伊達東仮設住宅でスタートしました。

初回となったこの日は、健康づくり講演会・健康相談会が仮設住宅に隣接する伊達東公民館を会場に行なわれました。筑波大学大学院の久野譜也さんが仮設住宅住まいの中で健康を維持するための方法についてユーモアを交えながら「今より元気になるって村に戻りましょう」と講演しました。

出席した40人ほどの参加者は、久野さんの話に時に笑いながら興味深く聞き入っていました。

参加者からは、「いい話だった」「避難解除になるまで元気でいたい。みんなで運動する良い機会だと思う」といった感想がありました。

プログラムは来年3月まで行われ、参加者が個別に体力づくりや定期的な体力測定に取り組めます。



▲「体力づくりをしないと仮設住宅は寝たきり促進住宅になってしまう」と話す久野さん

## 9/18 福島市で飯舘村敬老会を開催



▲敬老会のようす

「飯舘村敬老会」は福島市飯野町の飯野小学校体育館を会場に開催され、村の75歳以上のお年寄り310人が出席しました（招待者は、1,138人）。会では、村長が「多くの皆さんと一体になってこの全村避難という難局を乗り越えていきたい」とあいさつしました。

続いて行われた記念品贈呈では、井上千枝さん（深谷）に村長が敬老祝い金を手渡しました。また、庄司勝・タエさんご夫妻（前田・八和木）が、金婚夫妻を代表して福島民報社・福島県老人クラブ連合会から

表彰状と祝い品の贈呈を受けました。さらに、相馬農業高等学校飯舘校家庭クラブと村社会福祉協議会からもお祝いの品が代表者に渡されました。

敬老者を代表して庄司勝蔵さん（白石）が「原発事故により長年住みなれたふるさとを離れ生活することになりましたが、それぞれの環境の中で生き生きとした社会や仲間づくりのため、可能な限り役割を果たすよう努力します。本日はありがとうございました」と謝辞を述べました。

乾杯の後には、ステージ上で草野幼稚園児によるおゆうぎや新日本舞踊藤山新流一葉会の皆さんに加え、飯野町老人クラブの皆さんなどによる演芸が披露され、参加者を楽しませました。



▲敬老者を代表して謝辞を述べる庄司さん



▲村長から敬老祝い金を受ける井上さん



▲楽しいおゆうぎや演芸に顔もほころびます



▲草野幼稚園児によるおゆうぎ